

外科学系消化器外科学分野

特色

消化器外科は、日本大学医学部附属板橋病院・日本大学病院および関連病院で診療を行っています。消化器外科領域の手術・周術期管理・抗がん剤化学療法・緩和医療を習得し、幅広い知識と技術を持った人間味豊かな外科医の育成を行っています。



岡村 行泰 主任教授



山下 裕玄 教授

主任教授からのメッセージ

消化器外科では、これまで他の特定機能病院と比較し導入が遅れていた低侵襲手術を2021年8月より積極的に導入しています。2021年4月から新体制となっていますが、肝がん手術数が全国第1位であった頃のスタッフも多く在籍しており、新しい技術と融合し、より高いレベルの診療、研究を目指していきます。抗がん剤治療を多く行っているのも当科の特長で、消化器外科の手技習得に加え、オンコロジストとしての修練も可能です。手術に関しては、腹腔鏡下手術、ロボット支援下手術、抗がん剤治療に関しては、免疫チェックポイント阻害薬、など新しい技術、薬剤が次々と登場してきています。これらに対応していくには、柔軟な思考を持っている若い力が必要です。是非、日本大学消化器外科を国内でも先進的治療を行っている施設にしていきたいです。

臨床の特徴と実績

板橋病院は肝胆膵癌外科手術において国内有数の手術件数があり週に4-5件の肝胆膵手術が行われています。さらに現在は、鏡視下手術の適応を広げ、60-70%の肝腫瘍が鏡視下手術で行われています。大腸癌に対しても積極的に腹腔鏡下手術を行っており、2022年7月からは直腸癌に対してロボット支援下手術を導入しています。日本大学病院は、上部消化管、特に胃食道吻合部癌に対する鏡視下手術や胃がん腹膜播種に対する化学療法に特徴があり症例数が増加しています。各病院ともに、基本となる胃癌・大腸癌の手術を年間約150件以上施行し中堅医師の修練の場として十分な症例数と指導体制を整えています。若手医師の研修には、胆石症や鼠径ヘルニアなどの良性疾患も多数行なうとともに、定期的なアニマル・ラボや実技実習をおこなうなどの指導体制が整っています。消化管穿孔・汎発性腹膜炎・急性虫垂炎などの緊急手術も年間100件以上おこない腹部領域のほぼ全ての疾患を網羅的に研修が可能です。

教員

主任教授 岡村 行泰
 教 授 山下 裕玄
 准教授 林 成興・中山 壽之・荒牧 修
 助 教 森口 正倫・五十嵐 雅仁・萩原 謙・寺本 賢一・吉田 直・三塚 裕介

後期研修プログラム

基礎的な知識と技術を習得し、臨床能力の確立を目指します。専門医の取得を目指す専門医コースと学位の取得を目指す大学院コースがあります。

後期研修医	専門医取得コース		大学院コース	
卒後3年	大学病院		大学院	
卒後4年	関連病院			
卒後5年				
卒後6年		外科専門医		医学博士（学位）
卒後7年	大学病院	消化器病専門医・ がん治療認定医	関連病院・ 大学病院	外科専門医
卒後8年				
卒後9～12年		消化器外科専門医		消化器外科専門医
卒後13～15年		医学博士（学位）		

後期研修カリキュラム
◎専門医コース

卒後3年目：日大板橋病院2グループ、日本大学病院1グループのいずれかに配属されます。グループは、班長（卒後10-15年目を目安）を中心に3名程度で構成されます。外科の基本手技、手術及び周術期管理を中心に、抗がん剤治療や緩和ケアも学びます。鼠径ヘルニアや急性虫垂炎の執刀の機会が多数あります。

卒後4～6年目：関連病院に出向し胆石症、消化管穿孔、絞扼性イレウス、胃がん、大腸がんの執刀の機会に恵まれます。腹腔鏡手術のトレーニングもこの時期に多数行うこととなります。学会発表を多数行い、外科専門医の取得を目指します。

卒後7～12年目：班の中心として難易度の高い手術を執刀が開始、各種専門医・認定医の取得を目指します。

卒後13～15年目：班長として、患者のインフォームドコンセントや疾患のマネージメントを行います。肝切除や下部直腸癌等の高難易度の手術技術の習得を行います。臨床や基礎研究を行い、英文論文の執筆を行い、学位の取得を目指します。

◎大学院コース

臨床研究または基礎研究を行い、英文論文を執筆し学位を取得します。他科や施設との連携による基礎・臨床研究をおこなうだけでなく、後進の指導者として研究の計画の立て方、方法論を学びます。学位取得後は、臨床へ復帰して専門医取得を目指します。3年目より大学院へ入学する必要はありません。

研修施設

日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区）1025床 手術数 約650件／年
 日本大学病院（東京都千代田区）320床 手術数 350件／年
 独立行政法人国立病院機構災害医療センター（東京都立川市）455床 手術数 610件／年
 創進会みつわ台総合病院（千葉県千葉市）400床 手術数 450件／年
 圭春会小張総合病院（千葉県野田市）326床 手術件数 400件／年
 取手北相馬保健医療センター医師会病院（茨城県取手市）215床 手術件数 350件／年
 都立大塚病院（東京都豊島区）500床 手術件数 670件／年
 国際医療福祉大学市川病院（千葉県市川市）260床
 相模原協同病院（神奈川県相模原市）400床 1000件／年

取得可能専門医

日本外科学会（専門医・指導医）日本消化器外科学会（専門医・指導医）
 日本肝胆膵外科学会（高度技能医）日本内視鏡外科学会（技術認定医）日本消化器病学会（専門医・指導医）日本肝臓学会（専門医・指導医）日本膵臓学会（専門医・指導医）日本胆道学会（専門医・指導医）
 日本大腸肛門病学会（専門医・指導医）日本臨床腫瘍学会（認定医）など

身分及び待遇

日大板橋病院、日本大学病院では専修医として、また大学院に進学したものは、大学院生として所属する。
 待遇は、日本大学医学部および関連施設それぞれの職務規定に従う。
 夏期休暇・年末年始休暇の取得可能 産休・育児休暇の取得可能。

他大学出身者

名古屋大学、東京大学、北海道大学、秋田大学、岐阜大学、帝京大学、北里大学

主催学会（研究会）

第55回肝癌研究会 ホテル椿山荘東京 2019年7月4日・5日
 第79回日本臨床外科学会総会 東京国際フォーラム 2017年11月23日～25日
 第21回アジア外科学会 東京国際フォーラム 2017年11月22日・23日
 第20回肝臓学会大会（JDDW2016） 2016年11月3日～6日
 第68回手術手技研究会 東京ステーションコンファレンス 2014年5月16日・17日
 第9回肝癌分子標的治療研究会 海運クラブ 2014年1月25日
 第8回肝癌シミュレーション研究会 ホテル椿山荘東京 2013年9月28日

テレビ取材

主治医が見つかる診療所：テレビ東京 2019年11月24日
 名医の極み：テレビ朝日 2019年10月20日
 ザ・ドキュメンタリーここまで来た！がん治最前線：BS朝日 2018年10月27日
 ヒポクラテスの誓い：BS TBS 2016年5月28日
 プロフェッショナル 仕事の流儀：NHK 2015年9月28日
 平成のゴッドハンドたち・肝臓がん編：テレビ朝日 2007年5月28日

新入教室員の声 令和4年度の新入教室員より研修医の先生へメッセージ

久米 徹 先生



日本大学卒
 ミライの後輩へ1言
 良い雰囲気の下、幅広く外科を学ぶことが出来、とても充実した後期研修を送れています！

自分の趣味
 ボクシング、野球観戦

須田 満男 先生



金沢医科大学卒
 ミライの後輩へ1言
 他大学出身ですが、上級医の先生方はとても親身に熱心に指導して頂いており、充実した日々を過ごしています！

趣味
 スポーツ観戦 旅行 バasketボール

村井 海輝 先生



日本大学卒
 ミライの後輩へ1言
 しっかりとした指導医の下で手術や周術期管理はもちろんのこと他にも常に学ぶことがあり充実した日々を送っております。

趣味
 テニス、スキー、サウナ

鈴木 達徳 先生



日本大学卒

ミライの後輩へ1言

初期研修は外部で研修し、大学に戻ってきました。大学ならではの手術を身近で見て、日々刺激をもらいながら精進しております。

自分の趣味

ドライブ、筋トレ、サーフィン

◎ 教室の説明会・病院見学は個別に随時受付をしています。お気軽に連絡ください。

問い合わせ先

日本大学医学部外科学系消化器外科学分野

医局長：五十嵐 雅仁

〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町 30-1

TEL：03-3972-8111 (ext 2471、2473) FAX：03-3957-8299

E-mail：ikarashi.masahito@nihon-u.ac.jp

消化器外科ホームページ：http://www.med.nihon-u.ac.jp/department/surgery3/